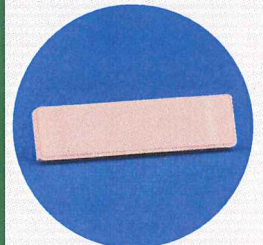
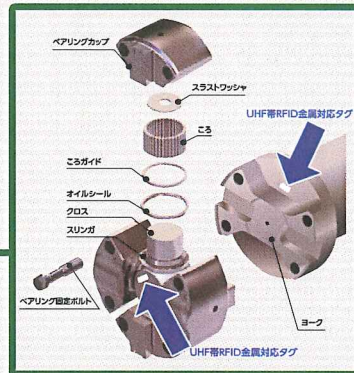


鉄鋼設備の製品履歴管理システム

この度、ニッタ株式会社では、株式会社ジェイテクト様における、鉄鋼設備用ドライブシャフトの製品履歴管理システム導入に必要なRFタグ(ロジフレックス)を納入いたしました。
本採用事例は、鉄鋼設備に限らず保全部品や設備などの金属物品への応用も図れます。



UHF帯RFID金属対応タグ
(寸法:10×39×2.9mm)

採用タグ	MT-PH1	管理対象物	鉄鋼設備用 ドライブシャフト	採用ポイント	埋め込み通信可能・通信評価の 技術サポート・細かな販売ロット・ 耐環境特性
導入枚数	約500枚(初回)				

導入概要

課題 1

実機使用後品の製品型番・製造番号が簡単に読み取れない。

ドライブシャフトの製品表面には製品型番・製造番号を打刻しているが、ユーザー様で使用されると粉塵が堆積し、打刻文字が読み取れない。ユーザー様現場での堆積した粉塵の除去作業が大変であった。

課題 2

補修履歴管理ができていない。

定期補修された履歴を製品自体(履歴管理番号を刻印するなど)では管理できていない。

改善POINT

1. かざすだけで個体を認識

数10cm離れた場所からRFタグの読み取りが可能。
粉塵除去作業不要。

2. 多くの情報入力が可能

製品型番・製造番号・
補修履歴管理番号
使用履歴など

導入効果

簡単・スピーディーに製品型番・製造番号が把握できる

→定期交換部品の手配工数短縮
突発不具合時の製品情報を実機オンライン状態で確認可能

今後の展望

ユーザー様とのデータ共有化

ユーザー様に実機使用履歴を入力いただくことで、製品の履歴管理精度を向上できる。
さらに、製品寿命予測(新作交換時期)や補修時期予測に役立てる。